

H30年6月5日(火)

テーマ：ステップ2 深める看護研究

講師：辻 あさみ先生 和歌山県立医科大学保健看護学部教授

場所：看護研修センター

参加者：55名

H30年5月開催のステップ1「いまさら聞けない看護研究」の出席者が大半でした。
その時の参加者のアンケートを反映しながら進行していただきました。

いつもは鶯のような声ですが、今回は「……………」?!



内容は

研究クリティークの実際

効果的なプレゼンテーション技法 など

初めて<クリティーク>という言葉聞いた方も・・大丈夫！
徹底的にとことん<クリティーク>について学習しました。

実際にクリティークしてみましょ！
論文をしっかりと読み込んで・・・
あら探しとは違います
論理的に客観的に・・・
信頼性や統合性を検討します・・・
さあ、目的から結論まで**1本の線**でつながりましたか？
先生の講義で初めて聴いたクリティークですが、みんなでやれば「ちょっとわかった。」「よ~わかった。」

遠慮せず、来年も来てくださいね。



H30年6月6日(水)

テーマ：感染予防の基礎

講師：尾崎 かおり先生 南和歌山医療センター 感染管理認定看護師

場所：看護研修センター

参加者：76名



感染経路が理解できれば
患者を守り、自分も守れる

手の洗い残しを可視化する
自分の手洗いの癖を知るいい機会でしたね



いかがでしたか？
真っ白に光る手を私は見ました。
もちろん手洗い後！！
誰とは言いませんが。。。。

正しく基本を理解しましょう

- *知っているのと、実践できるのは違います
- *先輩に見られている時と見られていない時、同じことが出来ますか

そして

- *チームで取り組むことです



H30年6月16日(土)

テーマ：あきらめない！認知症看護

講師：寺澤 幸美 先生 北出病院 認知症看護認定看護師

場所：看護研修センター

参加者：72名

午前中は認知症の疾患・治療・症状などを詳しく説明してくれる。

DVDによる症状の説明は、俳優さんの演技がみごとでわかりやすかったようだ。

皆さんが、必死に先生の言葉一言一句を聞き逃さないようスライドの内容や先生の言葉を書き写す姿が印象的だった。

それだけ、認知症患者との関わりに困っている、悩んでいる方が多いのでしょう。



スクリーンを見ながら、手元のペンは常に動いていた。

午後からはグループワーク。

事例を通して考えたり、クイズ形式で考えたりと楽しく学べた5時間だった。

初めは静かだったグループワークも
時間と共に活発に！



発表したことを教育委員が板書し、
先生がまとめをしてくれた。
皆さんお疲れ様でした。

H30年6月30日(土)

テーマ：多職種連携でつなぐ退院支援

講師：戸石 未央 先生 日本赤十字社和歌山医療センター
在宅看護専門看護師

場所：看護研修センター

参加者：101名

まずは、隣前後で自己紹介と研修に参加した目的や今の自分の課題をディスカッション。数人が発表をしてくれる。

介護保険についての説明から始まると、受講生から「ふーん」と内容に新たな学びがあったような反応。また、ペンも色を変えたりする音があちらこちらから聞こえてきて、皆さんの研修受講への意欲がすごく伝わった研修だった。

退院支援のプロセスから生活の場へ復帰するためにチームでアプローチすることを説明。事例を通して退院支援を考えて行った。

最後のグループワークでは「退院支援における看護師の役割やこれから自分たちが出来そうなこと」をディスカッションする。

この内容の発表については、受講生自ら挙手をして発表してくれた。これには、先生も「予期していなかった」と言いいながら喜んでいました。

朝は、海南郵便局の前で大きなトラックが横転したため、渋滞で遅れる受講生も多かったが土曜日にも関わらず多くの方が受講生してくれた。お疲れ様でした。



まずは、自己紹介を兼ねて、今の自分の課題などをディスカッション。

最後のディスカッションでは、質問をするグループや、自主的に挙手をしての発表だった。

